

# CPII Mc (亀田) クラス

パスワードを忘れたものは、学生証を持って、直ちに、この建物5Fの事務室に行って再発行してもらうこと

# コンピュータの起動と電源を切る

## ・起動

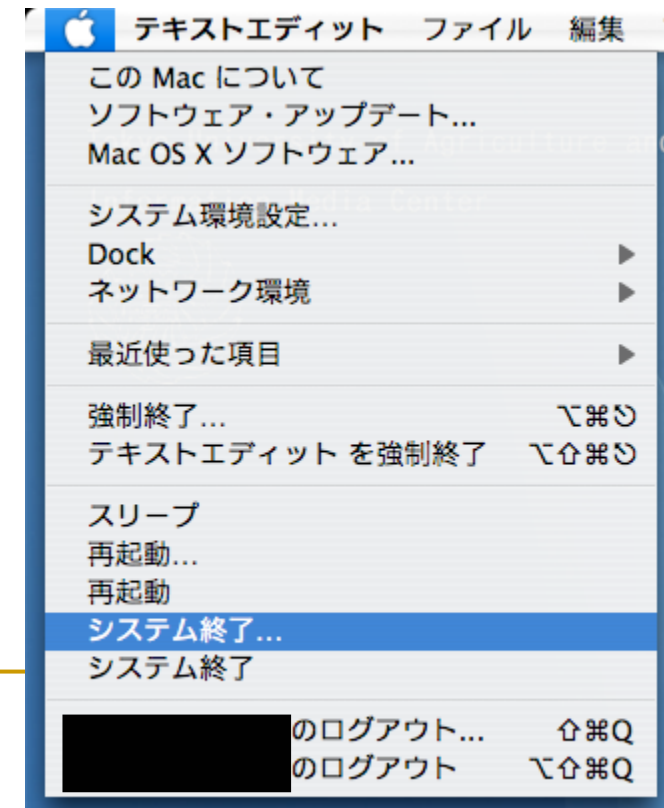
電源ボタンは裏面にある。

ログイン画面が出た「**ユーザー名**」と「**パスワード**」を入力する。

\* パスワードはメディアセンタ5階事務室で配布されている。

## ・電源を切る

画面左上のりんごマークをクリックして  
システムの終了を選ぶ。



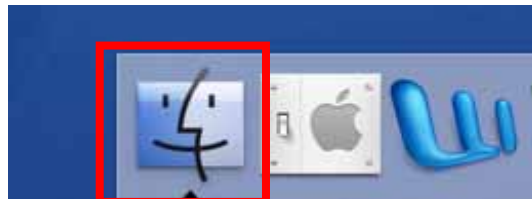
# テキストエディット

- ・テキストエディットを開く

「Finder」をクリック

ウインドウの左にある「アプリケーション」から  
「テキストエディット」をダブルクリックで開く。

\* テキストエディタは頻繁に使用するので、テキストエディットのアイコンを画面下のDockにドラッグアンドドロップで追加しておく

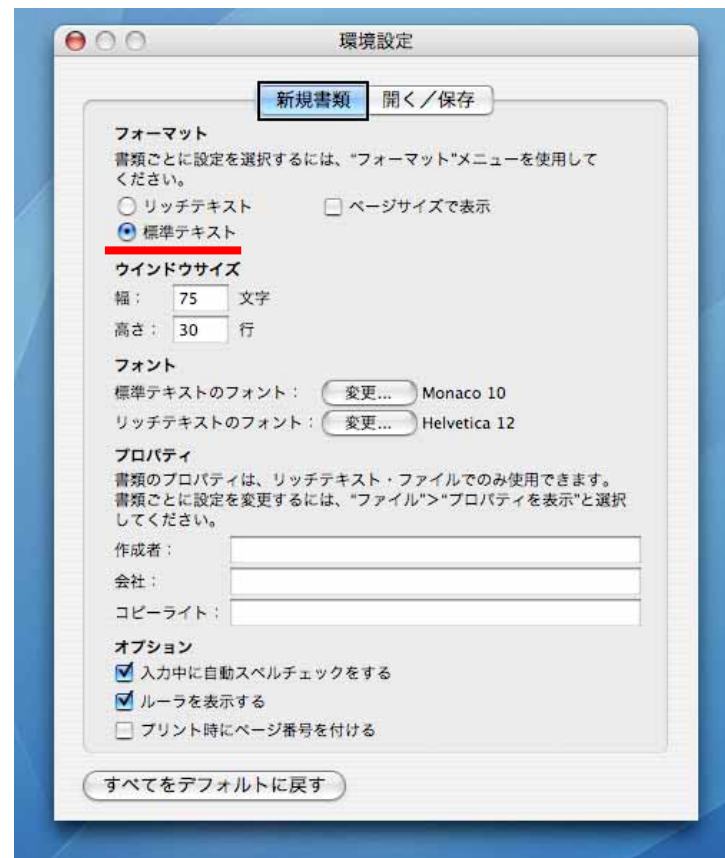


Finder

# テキストエディタの環境設定

## ・テキストエディタをC言語が使えるように設定する

画面上のメニューの中から、「**テキストエディタ**」を開き「**環境設定**」を選択する。  
開いた画面上で、「**フォーマット**」のところで「**標準テキスト**」を選択する。



# テキストエディットの環境設定

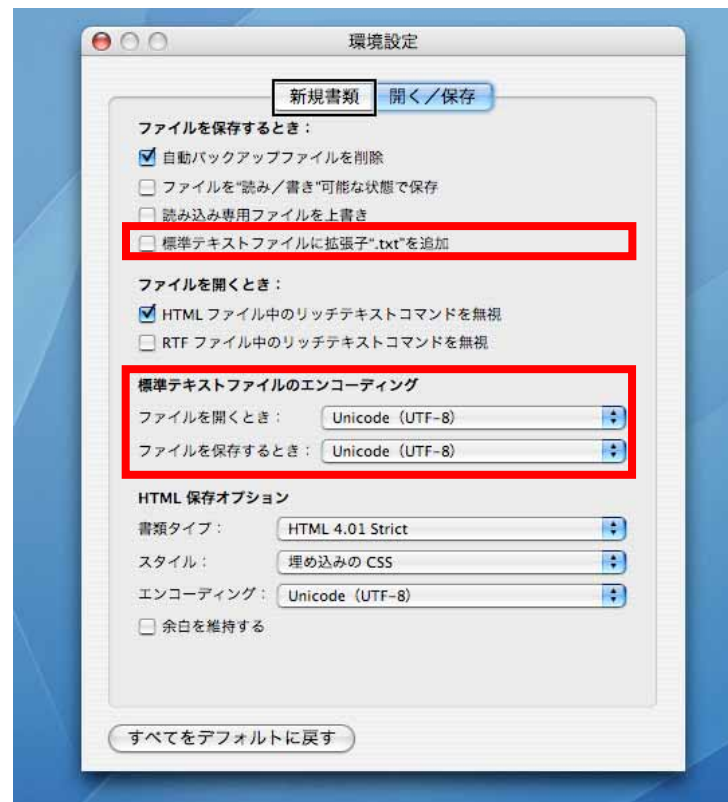
一番上の「開く / 保存」のボタンをクリック

「標準テキストのエンコーディング」を以下のように設定する。

ファイルを開くとき： UTF-8

ファイルを保存するとき： UTF-8

「標準テキストに .txt を追加」のチェックを外して、画面を閉じる



# プログラムの作成

## ・プログラムを書く

設定したテキストエディタにプログラムを入力する

- \* 漢字と英数字の切り替えは、スペースキーの左右にある「かな」「英数」を使う。
- 行の先頭の空白は「tab」キーを用いる。
- バックスラッシュ(“/”)は「option」キーを押しながら「¥」キーを押す。

# プログラムの保存

## ・プログラムを保存

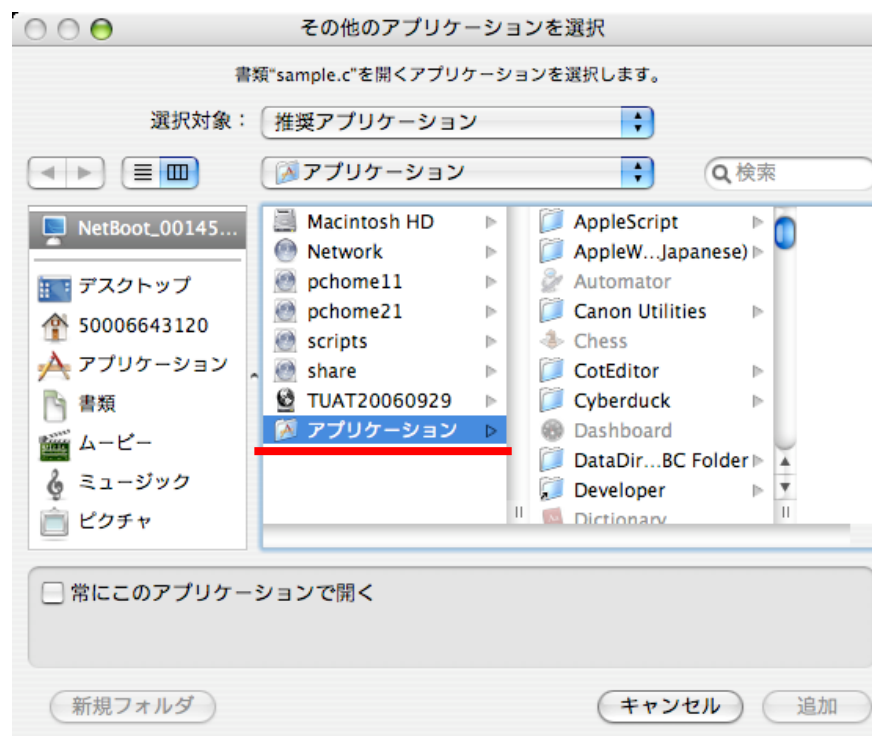
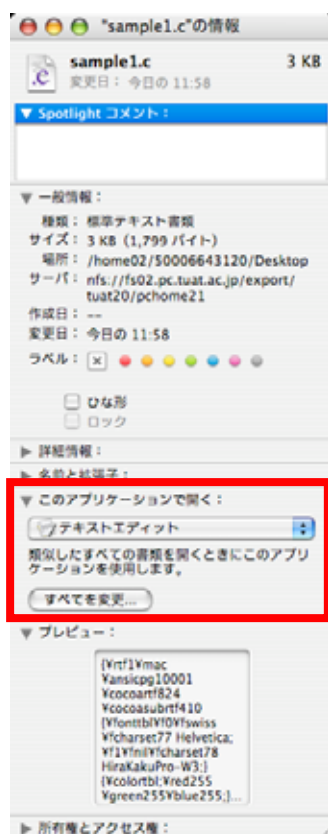
画面上のメニューから「**ファイル**」-「**保存**」を選択し、  
「名前」として「filename.c」と入力する。（「.c」はC言語の拡張子）  
保存先に適当なフォルダを選択する。

\* CP2の授業で使うフォルダを作っておくと便利である  
新規フォルダの作成は空いたスペースで右クリックし、  
「**新規フォルダ**」から新しいフォルダを作成する。

# プログラムファイルとアプリケーションの関連付け

## ・C言語のファイルとテキストエディタの関連付け

拡張子が.cであるファイルをテキストエディタで常にかけるように関連付けを行う  
作成したfile.cのファイルを右クリックし、「情報を見る」を選択する。  
「このアプリケーションを開く」を「テキストエディット」に変更する。  
さらに「すべてを変更」のボタンを押し、ウインドウを閉じる。



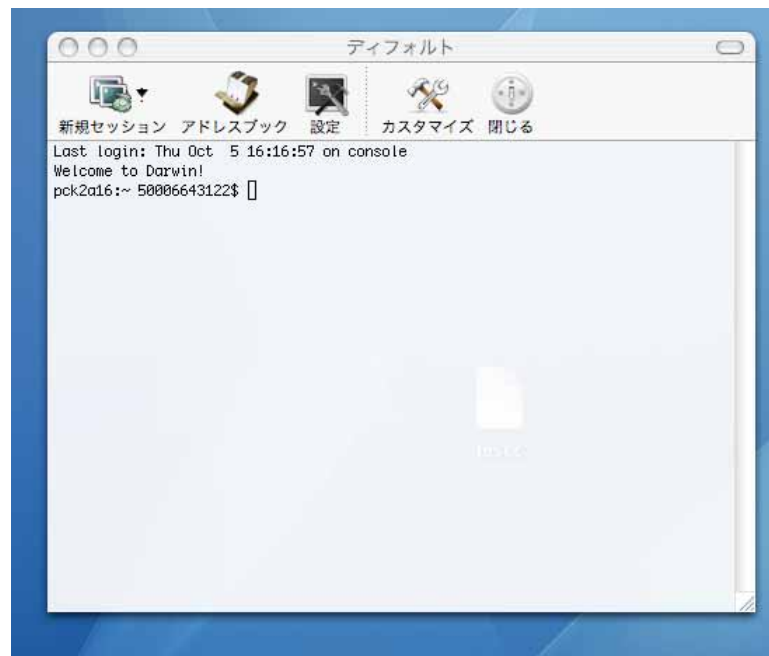
# iTermの起動

- iTermを開く

「iTerm」を画面下Dockの中のアイコンから選択し開く。



iTerm



現れたウィンドウは、コンピュータに指令(コマンド)を打ち込み、結果が表示される画面で、ターミナルと呼ばれる。ターミナルを使って、作成したプログラムのファイルを(ソースファイル)をコンピュータが実行できる形式(実行ファイル)に変換(コンパイル)したり、実行作業を行う。

# ディレクトリの移動

iTermの操作にはunixコマンドを使う。

## ・ディレクトリの移動

ホームディレクトリに移動:	<code>cd</code>
ひとつ上のディレクトリに移動:	<code>cd ../</code>
任意のディレクトリに移動:	<code>cd [directory name]</code>

\*「`cd_`」(`_`はスペース)と打って、リターンを押さずにフォルダをiTermのウィンドウにドラッグアンドドロップする。こうすると「`cd`」の後にフォルダ名が入力される。キーボードから同じ事を入力してもよい。

「`pwd`」で現在のディレクトリの場所を表示

「`ls`」でフォルダ内のファイルを表示

---

# コンパイル

## ・コンパイル

file.cをコンパイルするには「`gcc file.c`」と入力する。

\* プログラムミスがある場合エラーメッセージが出されるので、  
プログラムを修正して保存し再度コンパイルする。

「`ls`」コマンドで「a.out」という実行ファイルが確認できるか確認する。

## ・任意の名前の実行ファイルでコンパイル

「`gcc -o file.out file.c`」でfile.cをfile.outという実行ファイルに  
コンパイルできる。

---

# ファイルの実行

## ・実行

実行ファイル「a.out」を実行するには「./a.out」と入力する。

## ・補足

- ・「`↑`」キーを押すと、過去に実行したコマンドが出てくる。
- ・ファイル名を入力する時、途中まで打って「tab」キーを押すと残りの部分が自動的に補完される。

# UNIXコードの一例

ls	ディレクトリ内のファイルを表示
cd	ホームディレクトリに移動
cd ../	ひとつ上のディレクトリに移動
cd [directory name]	任意のディレクトリに移動
pwd	現在のディレクトリの場所を表示
cp [file1] [file2]	ファイル, ディレクトリをコピー
mkdir [directory name]	フォルダの作成
mv [old file] [new file]	ファイル, ディレクトリの名前変更
rm [file name]	ファイル, ディレクトリの削除
more [file name]	ファイルの内容を表示
vi [file name]	テキストの編集